

第20回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

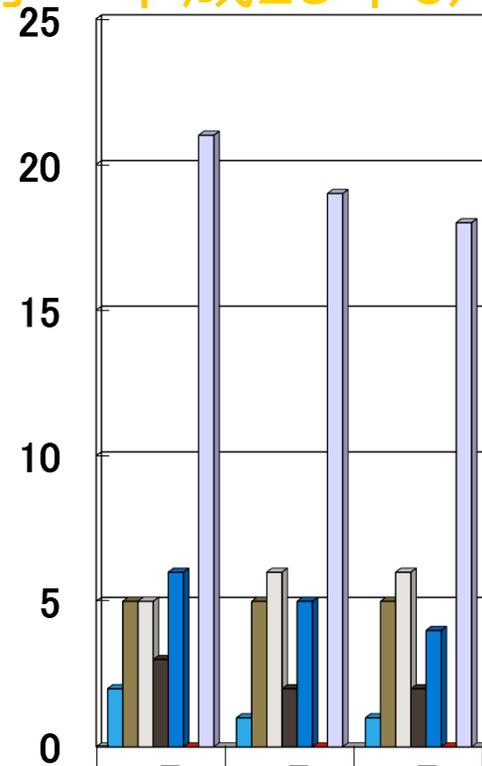
平成28年5月27日

第20回運営推進会議

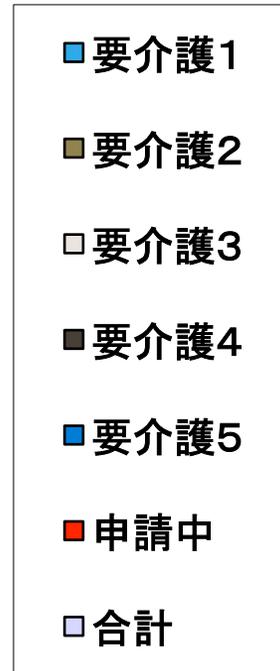
- るぴなすご利用者現況報告
- 看取りの報告
- 活動報告
- 熊本地震支援活動報告
- 災害対策
- その他質疑応答・要望等

登録利用者数

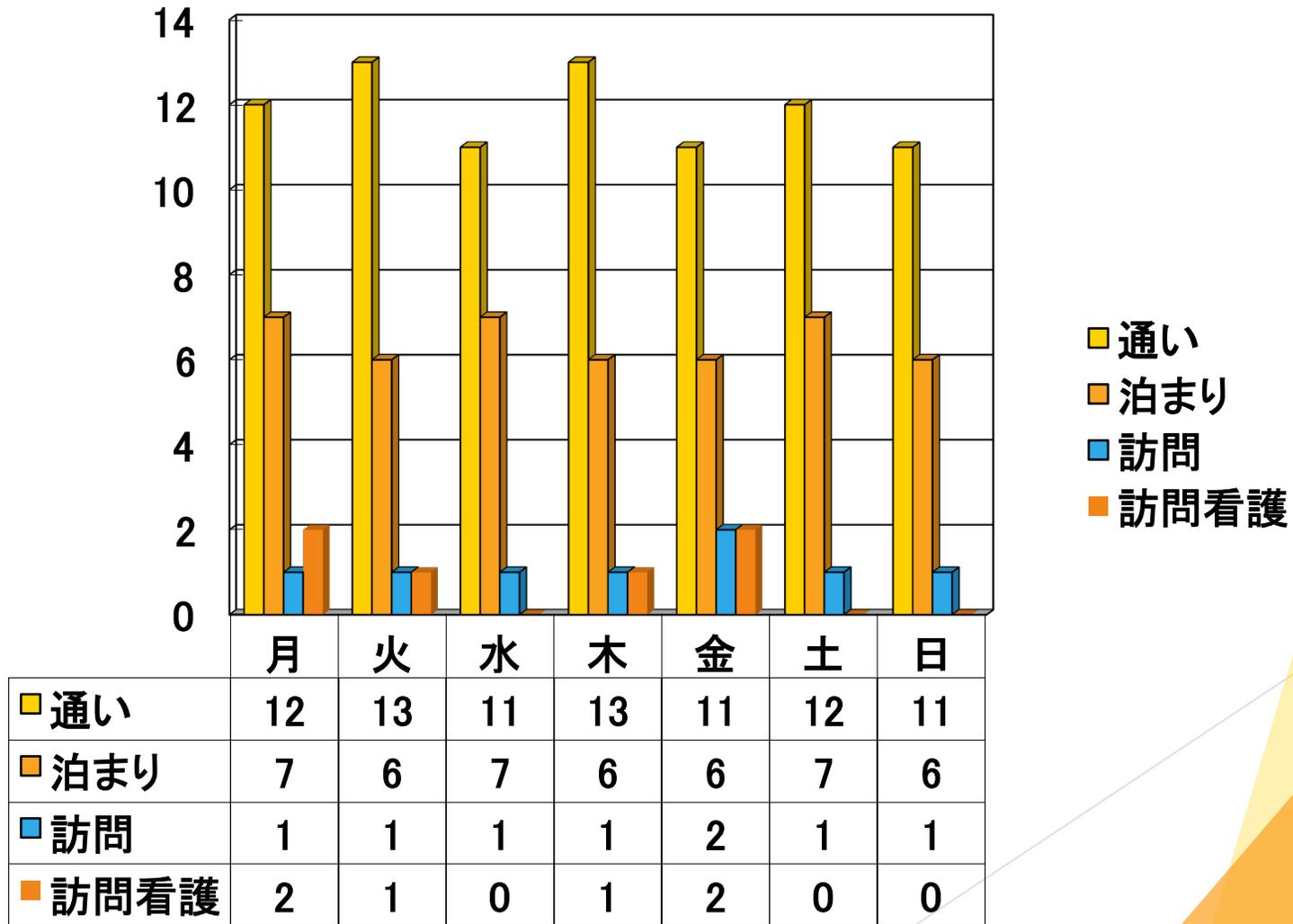
平成28年4月～平成28年6月



	4月	5月	6月
■要介護1	2	1	1
■要介護2	5	5	5
□要介護3	5	6	6
■要介護4	3	2	2
■要介護5	6	5	4
■申請中	0	0	0
□合計	21	19	18



平成28年5月 曜日別利用者数



【看取りの報告】

- ▶ N・A様 女性 82歳 要介護1
- ▶ がん末期。独居。生活保護。
- ▶ H28.3～斎藤先生訪問診療，訪問看護るぴなす利用。
- ▶ 病気が進行し自力で動けなくなり、急遽4/14るぴなす泊り利用開始。
- ▶ 4/15夜間より腹痛あり、午前よりモルヒネ貼り薬開始。
- ▶ 水分摂れず、口が渇くと小さい氷を口に入れていた。夕方、吐血。往診、筋肉注射、貼り薬追加。腰痛続く。
- ▶ 再び吐血多量、気持ちが悪いと訴え強い。往診、坐薬。その後苦しそうな様子なく眠ったり目を覚まされたりしていた。4:35永眠。

【看取りの報告】

- ▶ N・E様 女性 88歳 要介護5 独居
- ▶ H22.5体調不良, 食欲低下, 住居環境不良の為、るぴなす利用開始し、近くのアパートへ引っ越し、通いと訪問で毎日見守りを行う。
- ▶ H25.11背中痛みにより自力で動けなくなり泊り利用となる。
- ▶ H27.1右脳梗塞、動作・発語困難となる。
- ▶ H27.10～在宅酸素。
- ▶ 徐々に痰絡みや口から泡が出るなど、飲み込みが難しい状況となるが、様子を伺ながら水分や薄めたエンシュア（栄養）を摂取。必要時吸引。声を掛けると目を合わせ頷き意思表示されていた。
- ▶ H28.4/22るぴなすの職員に囲まれ、14:37永眠。

【看取りの報告】

- ▶ K・K様 男性 84歳 要介護5
- ▶ H20.12脳梗塞後遺症により右麻痺，失語症、車椅子での生活となる。
- ▶ H25.1直腸がんが見つかる。訪問診療開始。
- ▶ H26.7人工肛門となる。訪問看護，デイ，ショート利用。
- ▶ 奥様がほぼ一人で介護をしていたが、認知症の進行により介護が限界となり、H28.2より、るぴなすの通いと泊り利用。ご本人の希望する自宅で過ごせるよう、またご家族の負担を軽減し介護が続けられるよう自宅とるぴなすを行ったり来たりし、半分ずつ過ごせるようにした。
- ▶ 徐々にベッドで休む事が増え、食事が摂れない，発熱，痰絡み，呼吸苦が出てくる。
- ▶ 5/20、15時頃より呼吸が荒く、酸素濃度低い。往診、在宅酸素開始。呼吸苦あるが返答される。ご本人は自宅を望まれており、奥様と息子様来所され説明相談、帰宅する。
- ▶ 5/21ご家族に囲まれ4:13永眠。

～活動報告～

4月 お花見

5月 The 寿司 (5/30予定)

今後の予定

6月・・・デザート外出

6月 2日 避難訓練

24日 夜の茶の間

7月・・・七夕・流しそうめん

7月22日 夜の茶の間

8月・・・花火大会

8月19日 夜の茶の間

9月10日 るぴなす祭り



コミュニティ再生プロジェクト

はじまるよ～(*~*)

夜の茶の間



申し込みは不要です



★場所：デイサービスセンターるびなす

★日時：平成 28 年 6 月 24 日（金）

19：00～20：30

★参加費：500円（ワコイン）飲み物代

★ちょっぴりのお酒やお茶を飲みながら、最近嬉しかった事、私のこだわり、困っていること、地域の情報などなど・お話ししましょう！

年齢、性別は問いません。どなたでもどうぞ！

主催：ケアステーションるびなす 問い合わせ：025-257-7141（物江）

夜の茶の間 ボランティア募集中！！

平成28年(2016年)熊本地震

◇2016年4月14日(木) 21時26分 震度7発生

◇28時間後の4月16日(土) 1時25分 震度7発生

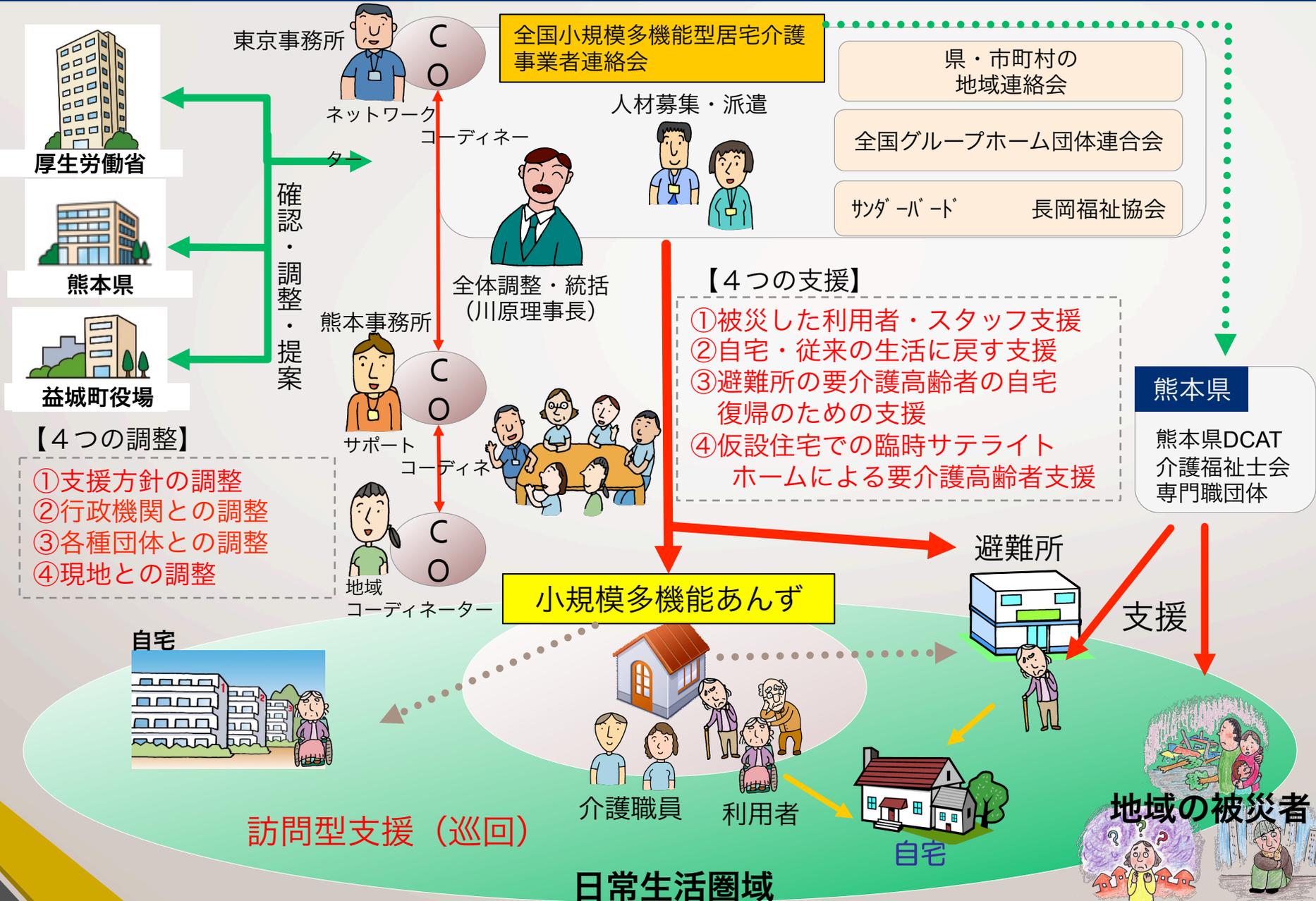
※震度6弱以上を観測した回数7回(～5月6日まで)



総合体育館近くの様子



被災した要介護高齢者支援の仕組み (～5月31日)



熊本地震支援活動

- ★地震が発生した熊本は前項小規模多機能型居宅介護事業者連絡会会長の地元であった。
- ★全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会より新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会に支援要請（1名）あり。
- ★新潟県を代表して、ケアステーションるぴなすの青山さんを熊本へ派遣
- ★5/19～5/23の5日間の支援活動。19日には天皇陛下とお会いする。
- ★避難所及び小規模多機能型居宅介護あんずでの支援活動
- ★避難所では、高齢者、障害者を中心にコミュニケーションや入浴支援（小規模多機能あんずのお風呂、自衛隊のお風呂を使って）薬の内服支援、小規模多機能で通常の介護業務と1日おきの宿直を行う。
- ★避難所で生活する方は少なく、テントや車で生活している方が多い。
- ★1日3～4回の余震が未だある。

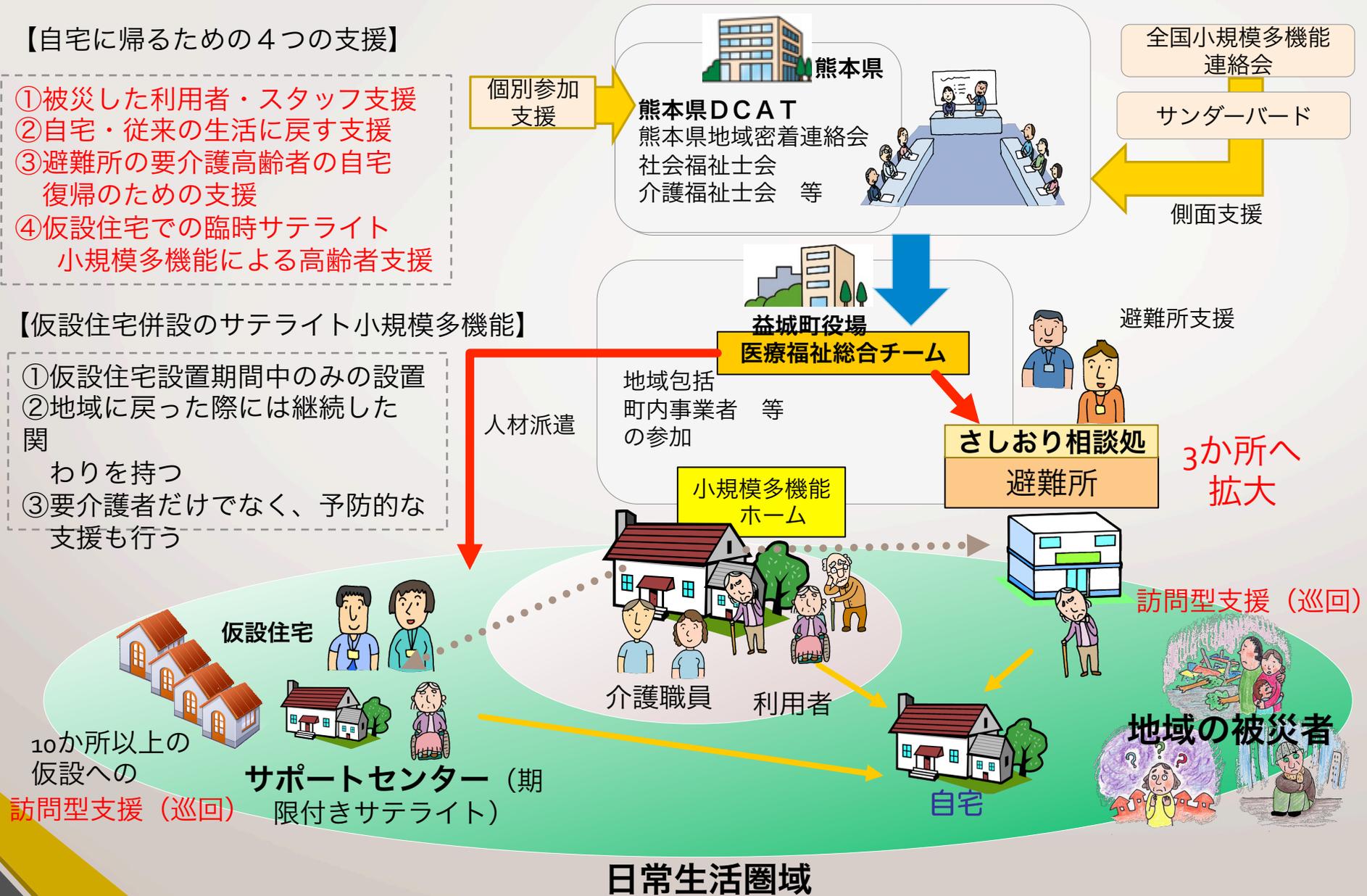
被災した要介護高齢者支援の仕組み (今後)

【自宅に帰るための4つの支援】

- ①被災した利用者・スタッフ支援
- ②自宅・従来の生活に戻す支援
- ③避難所の要介護高齢者の自宅復帰のための支援
- ④仮設住宅での臨時サテライト小規模多機能による高齢者支援

【仮設住宅併設のサテライト小規模多機能】

- ①仮設住宅設置期間中のみ設置
- ②地域に戻った際には継続した関わりを持つ
- ③要介護者だけでなく、予防的な支援も行う



災害対策

～私たちの地域の災害対策は？～

- 避難の判断、避難の方法
- 安否確認
- 避難所
- 災害時に備えた備蓄品
- 非常持ち出し品

第20回運営推進会議

開催日時：平成28年5月27日(火) 18:00～19:30

出席者：斎藤先生，看護小規模管理者・小林， 総務・物江
地域包括センター・小石様，自治会長・目黒様，民生委員・大嶋様
ご利用者ご家族・小林様，吉田様，高橋様

1. 斎藤先生より

- ・熱中症に注意
- ・自治会長が目黒さんに変更
- ・熊本地震について

2. 自己紹介

- ・高志2丁目新自治会長 目黒様
- ・地域包括支援センター姥ヶ山 新管理者 小石様
- ・民生委員 大嶋様
- ・ご利用者ご家族 小林様，高橋様，吉田様

3. るぴなすご利用者現況報告

- ・登録利用者数 4月は21名、2名お亡くなりになり、5月は19名、1名入院され1名お亡くなりになり、1名新規利用で6月は18名
- ・通い11～14名，泊り6～7名 ・訪問1～2名 ・訪問看護1～2名

4.看取りの報告

- ・ N・A様

先に亡くなった夫のような浮腫みが自分にもきた為看取って欲しいと、3月に歩いてクリニックへ来られた。訪問診療と訪問看護が入り他サービスも入ったが、その他の時間に見る人がいない、いつ悪くなるかわからない状態であった。家の中での移動もできなくなり、ギリギリの状態であった。早めに医療保険と介護保険の隙間を埋められたら良かったが、要支援であり、変更申請し看護小規模多機能を暫定で利用されたが2日で亡くなった。生活保護の方で、小規模多機能について保護課の認識がなく、説明し理解頂きようやく利用開始となった。

- ・ N・E様

ゴミ屋敷から救出し利用されていた。脳梗塞になり何度も危ない時があったが回復され、水分栄養は管ではなく口から最後まで頑張っていた。千葉県に一人息子様がおり連絡していたがなかなか来て頂けず、呼吸が止まってから来られた。今後そのようなケースが増えるのでしょう。

- ・ K・K様

H25.1の時点で余命半年くらいと言われており、転移はあったが進行が遅くここまで頑張られた。言葉は話せなかったがコミュニケーションはとれていた。

5.活動報告

○行事、日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告する。

・お花見

桜ヶ丘公園へ、歩いて行く方、車で行く方、酸素ボンベの方も一緒に地域へ出掛けました。外に出る機会が少ない方も何日間かかけ天気の良い日に出掛けました。るぴなすでの食事はお花見弁当でお花見の雰囲気を出しました。

・学生ボランティア

今年度新しい取り組みとして、介護福祉士を養成する専門学校、新潟医療福祉カレッジの地域へのボランティアのカリキュラムを受け入れています。2日間×5回、5名1チームで、1日目はコミュニケーション、2日目はレクを企画し披露されました。6月にも来られます。

・夜の茶の間

新たな試みとして6/24(金)19:00～20:30、ワンコイン、少しのアルコール、年齢、性別問わず、コミュニティ再生プロジェクトとして企画しました。7月からは第3金曜日。スタッフも関わりますが、運営に関わるボランティアを大募集していますのでよろしく

お願いします。地域に開かれた、集まれる場所、情報交換の場、昔のお互い様、ご近所様、地域づくりに役立てればと思っています。クリニックと薬局に貼り出し、チラシ置きホームページにも載せ、高志に限らず広く宣伝して頂きたいのでよろしくお願いします。

6.今後の予定

7.熊本地震

- ・ 支援活動報告 ケアステーションるぴなす職員青山さん 5/19～23
- ・ 被災した要介護高齢者支援の今後の仕組み
- ・ 災害対策

目黒自治会長：山潟地区大津波のシミュレーション、どのくらいの時間でどのくらいの水が来るか、避難場所までの経路、危険箇所、全て作ってある。7/23町内防災訓練、今回は誰が来たか受けをする。全体をいかに早く把握できるかが重要。初期消火訓練、AEDも行う。顔見知りになる事も大切。救急用具、電灯、ラジオ、電池の準備も大切。地域と一体になった取組が必要。隣に住む人もわからない無関心の人が多い。今後も情報交換を宜しくお願いします。



ありがとうございました(*^_^*)